

制限外積載許可等申請書（制限外積載）記載例

別記様式第四（第八条関係）

該当するものを○で囲ってください。

制限外積載
設備外積載
荷台乗車

許可申請書

申請又は作成日 令和〇年〇〇月〇〇日

出発地を管轄する警察署長名 ○○ 警察署長 殿

住所 佐世保市〇〇町〇〇番〇〇号

申請車両の運転者を記載してください。2名以上の場合は、連記し、連記できない場合は、運転者一覧表や運転者全員の運転 申請者 氏名 ○〇〇 ○〇

申請者の種類	例) 大型、けん引、大特、中型 など	免許証番号又は免許情報記録の番号	9 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
車両の種類	例) 大型、準中型、普通、大型特殊 など	番号欄に表示されている番号	佐 世 保 1 0 0 △ 1 1 1 1	
車両の諸元	長さ	幅	高さ	最大積載重量
	8.46 m	2.48 m	2.6 m	3,650 kg
運搬品名	例) コンクリート柱、建設機械、レール など			
制限を超える大きさ又は重量	長さ	幅	高さ	重量
	1.608 m	0.324 m	0.1 m	kg
制限を超える積載の方法	前	後	左	右
	0.454 m	1.154 m	0.162 m	0.162 m

設備外積載の場所

荷台に乗せる人員

運転の期間 令和〇年〇〇月〇〇日 から 令和〇年〇〇月〇〇日 まで

1年以内の必要な期間

運転経路	出発地	経由地	目的地
	長崎市〇〇町〇番〇号 △△鉄鋼株式会社 通行する道路	諫早市〇〇町〇番〇号 □□工業	大村市〇〇町〇番〇号 △△鉄鋼大村営業所

具体的に記載してください。

第 号

制限外許可証

上記のとおり許可する。ただし、次の条件に従うこと。

条件

年 月 日

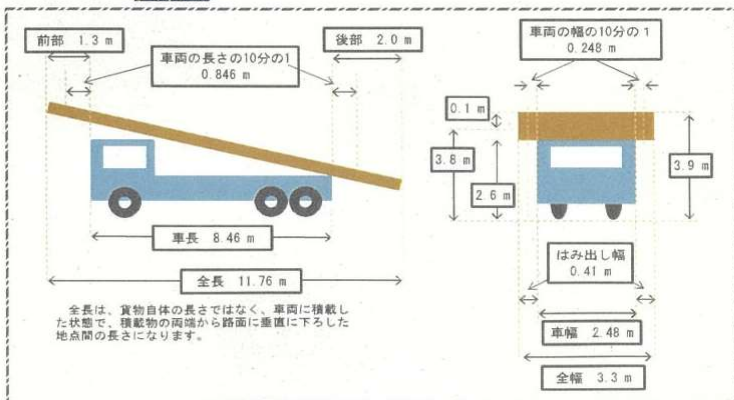
警察署長 印

申請者の方は記載しないでください。許可をする警察署で記載します。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。



「制限を超える大きさ又は重量」、「制限を超える積載の方法」の記載方法について説明します！



【制限を超える大きさ又は重量】

- 長さ** (積載物の長さ) - (車長 × 1.2) の値を記載する。
※ 「積載物の長さ」は積載した状態の長さ（左図の全長）
- 幅** (積載物の幅) - (車幅 × 1.2) の値を記載する。
※ 「積載物の幅」は積載した状態の幅（左図の全幅）
- 高さ** (積載時の高さ) - 3.8m の値を記載する。
※ 指定道路のみを走行する場合は4.1mを減じた高さ
※ 軽自動車の場合は2.5mを減じた高さ
- 重量** 原則として許可しない。

【制限を超える積載の方法】

- 前/後** (前後それぞれはみ出る部分の長さ) - (車長 × 0.1) の値を記載する。
- 左/右** (左右それぞれはみ出る幅) - (車幅 × 0.1) の値を記載する。